

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

(夜間部 イラストレーション科)

科目 区分	必修 選択の 区分	授業科目	実務教員 による授業	うちシラバス 添付	第1学年		授業時数 合計 (単位数)	実務教員授業時数	
					週間 授業時数	年間 授業時数		第1学年	第1学年
講 義	必 修	オリエンテーション			4	16	16		
		進路ガイダンス			4	16	16		
演 習 実 技	必	イラストレーション1	●		4	60	60	60	
		イラストレーション2	●		4	60	60	60	
		イラストレーション3	●		4	60	60	60	
		イラストレーション4	●		4	60	60	60	
		PC演習	●		4	60	60	60	
		画材研究	●	★	4	60	60	60	60
	修	ドローイング1	●		4	60	60	60	
		ドローイング2	●		4	60	60	60	
		自主制作					125	125	
		エバリュエーション					110	110	
		東美祭					70	70	
必修科目授業時数					817		817	480	60
選択科目授業時数									
卒業に必要な総授業時数					817		817	480	60

授業計画進行表(前期(後期))

担当講師 乙坂広和

回数・日付	授業内容	回数・日付	授業内容
第1回 4/11	オリエンテーション 画材研究という授業とは？ 目的と授業内容の説明 ～イラストレーションとは？	第10回 6/20	アクリル絵具とは？ ～アクリル色見本(練習課題)作成
第2回 4/18	パステルとは？ ～パステル色見本(練習課題)作成	第11回 6/27	アクリル 自由イラスト(採点課題)
第3回 4/25	パステル 果物・野菜イラスト(練習課題)	第12回 7/4	先週のつづき アクリル 自由イラスト(採点課題)
第4回 5/9	色鉛筆とは？ ～色鉛筆混色見本(練習課題)作成	第13回 /	
第5回 5/16	パステル・色鉛筆 人物リアルイラスト(採点課題)	第14回 /	
第6回 5/23	先週のつづき パステル・色鉛筆 人物リアルイラスト(採点課題)	第15回 /	
第7回 5/30	水彩絵具とは？ ～水彩色見本(練習課題)作成	第16回 /	
第8回 6/6	水彩風景イラスト(採点課題)	第17回 /	
第9回 6/13	先週のつづき 水彩風景イラスト(採点課題)	第18回 /	

授業形式 講義・演習・実験・実習実技

授業内容

この授業では1.パステル、2.色鉛筆、3.透明水彩絵具、4.アクリル絵具の4つの画材を、その基本的な使い方・塗り方(ノーマルペインティング)を学びながら、それぞれの画材で彩色した時に見られるビジュアル(表現)の違いを自分のイラストにどう落とし込むか、研究、さらに発展させながら表現力(武器)を身に付けさせ、自らその画材で描くことで体験、会得し、今後自分が制作していくデザイン、イラストの世界におけるビジュアル表現の基礎を作り、幅を広げさせる。

また、授業回数の関係上4つの画材に絞り込んだが、時間のゆるす限り、その他の画材(ポスターカラーやアクリルガッシュ、カラーインク等)も紹介して行く予定である。

【講師紹介】
東洋美術学校にて専任講師として、担任意務・授業指導を行う。平成18年、フリーランスのグラフィックデザイナーとして独立し、個人事務所「count basic design」を設立。雑誌の紙面デザインを中心に、広告、カタログ、HPのデザイン等、グラフィックデザイン全般にわたる媒体デザインを制作。

到達目標

1.パステル、2.色鉛筆、3.透明水彩絵具、4.アクリル絵具の4つの画材それぞれを使い、自らその画材で描くことで体験、会得し、今後自分が制作していくデザイン、イラストの世界におけるビジュアル表現の基礎を作り、幅を広げさせる。

成績評価基準

学習内容、作品内容の他にも制作、学習態度等を考慮して評価される。
講義科目：試験の評価、レポートの評価、出席状況、学習態度等を総合して評価される。
100-90点：A
89-80点：B
79-70点：C
69-60点：D
59点以下：不合格

提出課題

練習課題：5 採点課題：5

学生の持ち物、授業内で必要な材料など